

JARL

香川クラブ報

第 230 昭和62年 6 月15日



社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

昭和62年度高松市文化協会総会報告

(J R 5 V D) 夫表 田部

私たちのクラブが所属している高松市趣味協会など8協会により運営されている高松市文化協会の昭和62年度総会が5月30日(土)15時から、ホテル川六で開催されました。議長には、中条隋夫氏(百十四銀行会長)が選ばれ、新役員の選出、61年度の事業報告、決算報告、監査報告並びに62年度の事業計画及び収支予算などの議案が審議されました。

役員選出では、新しく副会長に大林一友氏(香川相互銀行社長)、理事に天野英弘氏(JARL香川クラブ会長)と吉田正勝氏(歴史民俗協会事務局長)が選ばれ、すべての議案は事務局提案のとおり承認されました。

また、瀬戸大橋架橋後の高松市の観光開発やPRの方法など文化活動について、熱心に討議が行われました。

総会后、懇親パーティーが開かれ、文化協会所属の各協会から活動経過の報告があり、また会員相互の交流を深めることができました。

最後に、河西新太郎理事長の乾杯の音頭で盛況のうちに終了しました。

JR5VD、JP5ZAV局 管理団体総会報告

昭和61年度管理団体総会が5月15日(金)19時から「喫茶ノバ」で開かれ、61年度会計並びにレビータ局運用経過などについて報告が行われました。会議にはJARL香川クラブをはじめ、さぬき2mSSBクラブ、高松市消防HAMクラブ、壇の浦HAMクラブから出席した構成員によって、議題はすべて報告のとおり承認されました。

なお、現在は、レビータのタイムアウトタイムは2分間で予告なしに切れていますが、タイムアウトタイムの予告信号を入れて、3分間にするための変更工事を行うことになりました。

運用経過報告については、5頁のとおりです。

『香川クラブの皆さんへ』

横田 寿夫 (J A 5 T F J)

梅雨に入り、庭先の紫陽花が一段とあざやかな今日この頃ですが、クラブ員各位には、益々御健勝にてアマチュア業務にご活躍のことと拝察申し上げます。

さて、ご挨拶が大変遅くなりましたが、私こと、4月1日付で愛媛県勤務となり過日赴任致しましたが、急な発令とて皆さん個々にご挨拶もせずに出発し、大変失礼しております。お空でのお付合いは勿論乍ら、何かと御世話になり、厚く御礼申し上げます。また、出発に際しては有志の方々から盛大な送別の宴までいただき誠にありがとうございました。私事で紙面を費し申し訳ありません。ただ、クラブはもとより香川県支部にとっても、来年はJ A R L総会をはじめ瀬戸大橋博、特設局運用等を控え一番忙しい、大事な時期、皆さんと一語に活動することが出来なくなることが残念でなりません。過日の県支部大会席上において折角本部長から委嘱された総会事務局長のほか、クラブ庶務係、県支部幹事、レビータ委員、養成課程講師、市趣味協会理事等の役すべてを返上の止む無きに至った点、深くお詫び申し上げますと共にサラリーマンの宿命とてご理解をいただき何卒ご容赦下さい。先日の福山総会に参加しローカル各局にお逢いした時は何よりでした。J A R L総会は、そのシンボルマークの引継ぎと共に1988年第30回大会に向け本格的な準備体制がスタートしたわけで、これからが大変だと思います。早速、福山総会を見ての検討会が進められていることと思いますが、世紀の瀬戸大橋の完成と共に記念すべき第30回総会の成功を今から祈って止みません。この大事業は1人や2人では出来ません。実行委員長を軸に事務局長以下実行委員会のメンバーは勿論、各クラブ員、県支部員の一人でも多くの協力と力の積み重ねが必要かと思っています。幸い、私如き者より、実行力ある新名氏 (J A 5 M I K 局) が事務局長に推された由何よりと存じます。

私も外国に来たわけでもなく、3H少々で帰県出来ますので、できる限りの事はお手伝いしたいと考えております。

こちら松山は以前にも6年程居ましたので何の不便もありませんが、合同宿舎でA N T設営が規制されO N - A I Rが出来ず、これだけが一寸不便です。

(応急的に張ってワツチはしていますが……。)

仕事の方も庁舎が移転となり、その通信施設等移設プロジェクトチームの一員として多忙を極めていますが、時には“ 59 ”を入れ単身赴任を元気で頑張っています。

城山や峰山レピータワツチとは参りませんが、愛媛県北条市の高縄山レピータ (439.40) をワツチしています。過日も I Q D、I Q P、M I K の各局と Q S O 出来ました。各局ビームを高縄半島 (今治) 方向に向けてコール下さい。

最後になりましたが、道後湯の街、坊ちゃんの街、松山方面に出張等でお越しの節は是非お声掛け下さい。(城山の下、県警本部で通信の横田と言って下さい。)

なお、住所、電番等は 4 月号に掲載いただいたとおりです。
本当に長い間ありがとうございました。クラブ員と御家族皆々様の御多幸をお祈りします。 CU AGN 73 松山より ……………

電話級アマチュア無線技士標準コース 養成課程講習会開講

日 時 昭和 62 年 7 月 31 日 18:30 ~ 10 日間 (夜間コース)
終了試験 昭和 62 年 8 月 12 日
オリエンテーション 昭和 62 年 8 月 12 日
場 所 高松市番町 成豊堂ビル 7 F

但し、終了試験及びオリエンテーションは、
高松市民文化センター 第 1 集会室

定 員 50 ~ 60 名
申込受付 日本アマチュア無線機器工業会
(株) 電化センター 方 TEL 0878-62-6077

周 知 事 項

☆ 庶務担当に JH5WMN 氏を ☆

クラブの庶務担当をしていた JA5TFJ 横田寿夫氏の転勤で、1 名欠員となっておりましたところを、JH5WMN 山口博司氏にやって頂くことになりました。

JH5LYW 三好伸幸氏と協力して、庶務の仕事をお願いいたします。

アマチュアは親切であること

JH5LYW 三好 伸幸

去る5月10日我が香川クラブの定例ミーティング終了後、若者ばかり？8人で国分寺青年センター南の喫茶に入り、コーヒーを飲みながら雑談をしていました。

と、そこへFBなYLさんが顔を青くして飛び込んで来て、「道の真ん中で車が動かなくなってしまったので、助けて下さい。」と哀願するではありませんか。

始めは皆、状態が飲み込めなかったが、窓から外を見ると赤い乗用車を先頭にして大渋滞、店内は我々3人しか男性はおらず、「これはたいへん。」と、とりあえず駐車場まで押し込んで状態を見ると、クラッチが全く用をなしていない。

『京都まで帰るのに、どうすればいいんですか？』と泣き顔。つくづく男は女に弱い。「そんなこと我々が知るか」と捨ててもおけず、おまけにアマチュア無線局のコール(本人はやっていないが、OMさんのコール)をはっているので、“JAF”を呼ぶよりと、ローカルのJH5KRT長尾OMを呼び出し、調整するも処置なし。さりとて、クラッチ板を交換するといっても急ぎ間に合うはずがない。

「それでは」と義侠心を出し、「とりあえず、ジャンボフェリーに乗ってしまえ。後は陸つつきだから、OMさんが何とかするだろう」と皆の意見が一致。それからJH5EJB局を先頭に、牽引車がJH5KRT局、故障車に私、私の車に京美人のYLさん、最後尾にJH5WMN局と、堂々の市巾行進となりました。

しかし、そこはそれアマチュア無線局の実力をフルに発揮し、走りやすくて空いている道をス～イスイ。無事、フェリー乗り場に到着しました。

「私達も家内が車に乗るので“明日は我が身”かも知れないから当然の行為、何も心配せず、後はフェリー関係者に十分お願いして、気をつけてお帰りを下さい。」と、名もつげず、カツコ良く、夕暮れ迫る波止場を後に解散しました。

(編者注：ウマク帰れたかナー？)

JR5VD・レピータ局の経緯と運用経過の概要について

代表者 JA5AHM 天野 英弘

- 昭 60. 2.17 喫茶ノバにてレピータ設置について JA5AHM、JA5MRH、
JA5XKVの3局により会談
- 2.19 レストラン・グリーンハウス松島店にて発起人会を開き 5局出席
- 2.24 430MHz電波伝搬テスト
- 2.26 430MHz地域レピータ局申込書提出(昭60.2.1付)
5. 1 430MHz帯周波数の割当なしという理田で不承認となる。
- 7.12 430MHz計画レピータ局申込書提出
- 7.28 1200MHz電波伝搬テスト
8. 4 1200MHzレピータ局申込書提出
11. 5 1200MHzレピータ局 1292.50MHzで承認される。
呼出符号JR5VD、同時にリモコン局もJP5ZAVで承認
- 11.28 430MHz計画レピータ局不承認
- 12.19 構成員会議(喫茶ノバにて)
- 昭 61. 1.24 1200MHzレピータ局とリモコン局 四国電気通信監理局よ
り免許される。
- 4.13 1200MHzレピータ局試験電波発射
5. 1 1200MHzレピータ局運用開始
- 6.29 430MHz電波伝搬テスト
- 7.30 430MHzレピータ局増設申込書提出
- 10.23 430MHzレピータ局 439.98MHzで承認される。
- 11.26 構成員会議(喫茶ノバにて)
- 12.23 430MHzレピータ局 四国電気通信監理局より免許される。
- 昭 62. 1.15 430MHzレピータ局試験電波発射
2. 1 430MHzレピータ局運用開始
- 5.15 管理団体総会(喫茶ノバにて)

こ 案 内

昭和62年5月28日 ホテル徳寿で開かれた高松市趣味協会の理事会で、
細則の審議及び昭和62年度の事業計画が討議され、その一つとして、次のよ
うな親睦リクリエーションが行われることになりました。

第3回親睦リクリエーションご案内

日本一の雲辺寺ロープウェイと丸亀美術館を廻遊する日帰りコース。
家族連れや仲間と一緒に楽しい一日を過ごしませんか。

記

実 施 日 62年7月26日(日) 雨天決行

集 合 午前8時15分 JR栗林駅(高架下)

午前8時40分 勅使ニチイ前

出 発 午前8時30分(帰着 17時20分頃)

参 加 費 大人 5,000円 学生 3,500円

(バス代、入場料、ロープウェイ代、昼食含む)

申込方法 参加費をそえて早目に申込みしてください。

(50名で締切)

申 込 先 J A 5 A H M 天野 英弘

お 知 ら せ

諸般の都合によりまして、7月の定例ミーティングは『中止』とさせていた
だきますので、お間違いのないように願います。

立夏を過ぎ、梅雨の候か、初夏の候か分かりませんが、あまり雨が降らず、
このまま夏に突入でしょうか。皆様御身御自愛ください。

社団法人 日本アマチュア無線連盟

香 川 ク ラ ブ 報

発行責任者 JA5AHM 天 野 英 弘

編 集 者 JA5IQP 合田口 正 春

" JA5MIK 新 名 等

" JA5OIB 合田口 キヨ子

連絡事務所 高松市中新町

(〒760) 天 野 英 弘 方

(TEL) 高松

"

郵便振替口座 徳島4-8758 JARL香川クラブ